

欧州ステアリングテクニカルセンター

KOYO STEERING EUROPE S.A.S.

EUROPEAN STEERING TECHNICAL CENTER, KTEC

1. 設立の経緯

Koyoは、1991年に仏ルノー社のステアリング生産子会社SMI社に資本参加を行い、欧州でのステアリング事業を開始した。その後1994年にフランスの電動ポンプおよびギヤポンプの専門メーカーであるHPI社を買収し、1998年の南米におけるステアリング生産拠点としてKSB(ブラジル)、KSA(アルゼンチン)を設立した。

2000年3月には仏プジョー社のステアリング内製工場を傘下に収めKSDSE社を設立し、欧州でのステアリングメーカーとして確固たる地位を築くに至った。

さらに、欧州、南米のグループ会社の製品技術力を一体化し、Koyoの世界展開の一翼を担う強力な開発体制を欧州に築く必要がでてきた。

2000年2月のステアリング事業欧州本社(KSE)設立に伴い、それまで各現地法人に分散していた機能の統合を図るとともに欧州、南米地域の顧客に対する技術サポートの強化のため、技術部門についても組織を統一し欧州ステアリングテクニカルセンター(KTEC)としてステアリング技術開発の欧州拠点を再編成した。

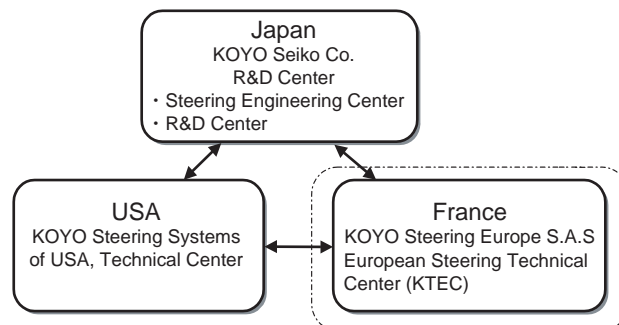
KTECは、日本のステアリング技術センターおよび総合技術研究所を中心としたKoyoステアリング事業の世界3極開発体制の一翼を担っており、次の目標のもとで体制の強化を図っている。

欧州技術の活用による開発の効率化および欧州での技術開発体制の確立。

今後急激に拡大する、欧州での省エネルギーパワーステアリング(コラムタイプ電動パワーステアリング、以下C-EPS、ピニオンタイプ電動パワーステアリング、以下P-EPS)の需要増にスピーディーに対応。

日系トランスプラントおよび南米も含めた技術サポート体制の確立。

光洋グループとしての一貫したグローバル技術対応。



ステアリングの世界3極開発体制

2. 内容

現在のKTECは、リヨン、パリ、ディジョンに分散しているが、開発・技術・試作・実験部門がうまく連携しながら対応しており、欧州客先および日系トランスプラント向けのパワーステアリング製品開発、自動車用・産業機械用電動ポンプおよびギヤポンプ、油圧モータの開発設計を日本と連携のもと実施している。



KTEC(リヨン)



KTEC(パリ)

2001年は、欧州市場へKoyo省エネルギーパワーステアリングが本格的に投入され、SMI / KSDSE / HPI社でのC-EPS、P-EPS、電動ポンプ油圧式パワーステアリング(以下H-EPS)の新規立ち上がり重なった重要な年となり、顧客の満足が得られる商品の提供に向けて、日本と欧州が一丸となって開発に取り組んでいる。

3. 主要設備の紹介

設計関係設備では、CADワークステーションを下記ソフトウェアで活用中である。

CATIA, EUCLID, PROENGINEER, UNIGRAPHICS, MEDUSA, AUTOCAD

実験関係では、各種の測定機器、物性評価設備、耐久試験機、環境試験機、電波暗室、無響室等を備えており、顧客およびKoyo標準による各種の評価に対応している。

4. 今後の展開

Koyoは欧州ステアリング事業のさらなる強化発展に向け、SMI隣接地に欧州本社兼欧州テクニカルセンターの建設を計画しており、技術者も充実させ、今後需要が急拡大する省エネルギーパワーステアリングの欧州展開に向け体制固めを推進中である。

欧州テクニカルセンターは、まだ発足したばかりであるが従来からの技術基盤の上に、名実共にKoyo世界3極体制の一翼を担っていけるよう、今後とも強化拡充に努め、顧客のニーズに応えていけるよう進めている。



評価設備(リヨン)



評価設備(パリ)



テストコース(リヨン)



KSE本社, KTECビル完成予想図

(欧州ステアリングテクニカルセンター
井尻和一郎, J. C. LEGRAND)